

2026 年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(心理学研究科)

(科目名:専門科目)

2026 年 2 月 21 日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

以下のすべての問題に解答しなさい。ただし、設問ごとに必ず別の解答用紙に解答しなさい。

設問 I

- 以下の問いに答えなさい。
 - 視覚的断崖と呼ばれる装置を使った乳児の実験について、「社会的参照」という言葉を用い、300 字程度で説明しなさい。
 - この実験から得られた知見をよりよい子育てに応用するとしたら、どのようなことが考えられるか、400 字程度でまとめなさい。
- 以下の表に示した a～c にあてはまる用語を答えなさい。

表

心理検査用語	用語説明
(a)	検査がどれだけ一貫して安定した結果を出すかを示す指標
(b)	誰が、どこで、いつ受けても、同じ条件で実施・採点・解釈され、結果が公平に得られること
(c)	検査が「本当に測りたいものを測れているか」を示す概念

設問 II

- 2010 年代に入って、精神医療においてリカバリームーブメントが世界的な潮流となっている。これに関して以下の問いに答えよ。
 - (パーソナル) リカバリーの定義について述べよ
 - (パーソナル) リカバリーに対して精神疾患へのスティグマはどのような役割を果たすか、について述べよ。
 - 次のうち間違っているものを選べ
 - ①リカバリームーブメントは当事者活動の中から始まった
 - ②パーソナル・リカバリーと病気自体の改善を目指す臨床的リカバリーは必ずしも一致しない
 - ③パーソナル・リカバリーは一時点の状態ではなくプロセスであるから、それ自体を測定するのは難しい
 - ④認知機能の向上は社会的リカバリーに含まれる
- 次の精神疾患について、症状、予後、介入法などの観点から 150 字以内で説明せよ
 - 1) 軽度認知障害 (mild cognitive impairment)
 - 2) ボーダーラインパーソナリティ症 (borderline personality disorder)
 - 3) 発達性協調運動障害 (developmental coordination disorder)

2026 年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(心理学研究科)

(科目名:専門科目)

2026 年 2 月 21 日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

設問Ⅲ

1. 以下の説明に合った用語を、下記の①～⑬から選択してください。

(1) 構造派家族療法が提唱した概念。治療のために家族と共同するために、まずは治療者が家族に受け入れられる必要があり、そのことおよびそのための治療者の働きのこと。

(2) ソリューション・フォーカスト・アプローチにおいて、「今晚、あなたが眠っている間に奇跡が起きて、あなたがここに相談に来ることになった問題が、すべて解決してしまったとします。…」とクライアントに聞く質問のこと。

(3) 1980 年代当時の家族療法のように家族に積極的に介入することで変化を生みだそうとはしない。会話の場において多様な参加者が織りなす外的会話 (outer talk) と内的会話 (inner talk) の転換プロセスを重視するアプローチ。

(4) このアプローチの代表例は、難治性遺糞症とされたニックの事例である。遺糞症という問題は「スキニー・プー」と名付けられており、ホワイトはそれをそのまま面接室に持ち込んだ。「プーへの家族の影響は？」等、外在化する会話を展開した。

(5) ある事象に関する心理的な枠組みが、新たな枠組みに更新されることを意図した、言語的な働きかけのことである。このような働きかけによって、事実は変わらなくても意味づけが変わること、物事に対する認識やコミュニケーションなどに変化が生じる。

(6) 患者が家族とのコミュニケーションにおいて2つの論理的タイプを混同することによって、縛られているという仮説。この理論を使った治療における働きかけのことを逆説指示、パラドックス処方という。

(7) 起源はミルトン・エリクソンの短期催眠療法であり、特有の原理に基づき、問題解消のための変化を促すことを中心にモデル化された心理療法である。1959 年に家族療法が始まり Mental Research Institute (MRI) が設立され、その数年後に Fish らによって生まれたアプローチ。

(8) 言葉やメッセージそのものを指し示す内容 (コンテンツ) に対する考え方。メッセージの前後関係、メッセージが発せられた人と場所等の状況の中で生まれる。例えば、父親の子どもに対する「よく頑張ったな」という発話は、その発話のなされた状況設定によって、子どもにとって<賞賛>と受け取られることもあるし、<皮肉>や<非難>と受け取られることもある。

- ① スケーリング・クエスション
- ② リフレクティング・プロセス
- ③ 二重拘束理論 (ダブルバインド)
- ④ ミラノ派 (ミラノ・システムック・モデル)
- ⑤ 文脈 (コンテクスト)
- ⑥ ミラクル・クエスション
- ⑦ ジョイニング
- ⑧ コラボレイティブ・アプローチ
- ⑨ ナラティブ・セラピー
- ⑩ パンクチュエーション
- ⑪ リフレーミング
- ⑫ 再構造化
- ⑬ ブリーフセラピー

2026 年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(心理学研究科)

(科目名:専門科目)

2026 年 2 月 21 日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

2. 心理職として、以下の対応について、○か×で答えてください。

(1) スクールカウンセラーとして会った小6 女児から性的虐待の話聞いた際に、その話を他者と共有したいと説得しても応じてくれなかった。そのため、来週に再度来談してくれるよう依頼し、引き続き説得を試みることにした。

(2) クライアントから論文にする許可をもらった事例について、A 市の特殊な地域事情と産業について書かなければならないので、その部分だけは A 市の地名と職業を記載した。

(3) 被災地に派遣されて活動をしたが、心理的にショックな場面が多く、自宅に戻ったところ自分自身がうつ状態となり、家族に心配された。家族から、被災地で何があったのかと何度も尋ねられたが、話せないと言った。

(4) 医療機関でカウンセリングをしていたところ、クライアントとの趣味が一致していることがわかり、クライアントから趣味の話をしたと言われた。そのため、趣味の話は面接室とは別の場面で会って話そうと一緒に決めて、カウンセリングを継続した。

(5) 心理職として市役所の子育て相談窓口でカウンセリングに携わっていた時に、小学生の長女の担任が自分の子育て相談で来談した。そのため、同じ課のスタッフに事情を話し、担当から外してもらった。

設問Ⅳ

1. 1995 年から配置が始まったスクールカウンセラーについて、以下の問いに答えなさい。

1) スクールカウンセラーの活動内容について、児童生徒や保護者へのカウンセリング、教員へのコンサルテーションがあるが、それら以外で、スクールカウンセラーが行っている活動内容として、どのようなものがあるか3 点あげて、それぞれ 300 字程度で説明しなさい。

2) 文部科学省によるスクールカウンセラーの配置の現状(配置時間、配置校数、配置の割合等)について 200 字程度で説明しなさい。

2. 以下の心理学用語について、解説しなさい(各 100 字程度)

- 1) アフォーダンス (affordance)
- 2) ストロープ効果 (stroop effect)
- 3) メタ認知 (metacognition)